

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・後期・B群
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・土木工学科
社会概説 (Introduction to Social Study)	担当教員	中村 隆文 (Nakamura, Takafumi)
	教員室	一般科棟3階 (tel.42-9043)
	E-Mail	nakamura@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位[講義] / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業(100分) + 自学自習(200分)〕×18回	
〔本科目の目標〕 時事的な社会的・倫理的問題について、哲学的観点からそれを分析・考察し、それに対する自身の考え方について、その理論的な正当化可能性を検証できるようになることが本科目の目標である。		
〔本科目の位置付け〕 4年次の「倫理学」「哲学」、および5年次の「技術倫理総論」の内容を補完するものである。「技術倫理総論」では、技術者の直面する倫理的課題に対する解決の基礎的手法を考察するのに対し、本科目では、さまざまな倫理的問題の背景を捉え、その詳細を分析することによって、そうした問題がどのような意味をもっているのかを多様な角度から見つめなおすものである。		
〔学習上の留意点〕 単になる暗記に終わることなく、自分自身で問題を考え抜く態度を身につけること。 教科書や適宜配布するプリントを参考に毎回復習し、200分以上の自学自習を行うこと。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 人の本質は「脳」にあるのか？	5	脳分割の思考実験、唯物論vs.心身二元論の論争の意味などについて、S.シューメーカーやD.パーフィットの議論に沿った形で理解できる。
2. 「こころ」とはどのようなものか？	5	感覚質(クオリア)などの概念、哲学的ゾンビに関する論争、ウィトゲンシュタインの哲学などの意義を理解できる。
3. 道徳的に生きることは、その人にとって本当に「よいこと」なのか？	4	ニーチェのニヒリズム、ホブズ-ゴティエの利己主義的契約論などを正しく理解できる。
前期中間試験	2	授業項目1～3についての達成度を確認する。
4. 環境問題における「問題」とは本当のところ何が問題とされているのか？	8	非人間中心主義vs.人間中心主義の議論、土地倫理や世代間倫理などについて理解できる。
5. 科学技術が人を不幸にする場合、技術の進歩を食い止めることができるのか？	8	ノーベルのダイナマイト、アインシュタインの相対性理論に基づく核兵器、インターネット社会がもたらした悲劇など、科学技術の「罪」の部分について正しく理解できる。
6. 法律上の「責任」とはどのようなものか？	4	「責任」という概念について、A. スミスの法理論、B. ウィリアムズなどの「道徳的運」などの議論を踏まえながら多角的に理解する。
前期期末試験 試験答案の返却・解説		授業項目4～6についての達成度を確認する。 試験において誤った部分を理解できる。
〔教科書〕など		
〔参考書・補助教材〕 必要な資料文献は適宜プリントして配布する。		
〔成績評価の基準〕 中間試験および期末試験成績(80%)、レポート(20%) 授業態度(上限20%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 1-a, 4-b		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 1-1, 4-1		
〔JABEEとの関連〕 (a), (b)		